

LIVE セッション

9:00 – 10:30

S1-01 小児科領域における現代の漢方診療

コーディネーター 黒木 春郎 (外房こどもクリニック)

座長 黒木 春郎

久保田恵巳 (くぼたこどもクリニック)

◆ 日本の漢方の歴史、その考え方

山口 英明 (Kこどもクリニック)

◆ 韓国での東洋医学の歴史、現状、日常診療での使われ方

張 奎台 (慶熙大学校韓方小児科)

◆ 日常診療での漢方、適応疾患、使い方など

森 蘭子 (森こどもクリニック)

◆ COVID-19と漢方の経験

黒木 春郎 (外房こどもクリニック)

10:30 – 12:00

S1-02 神経疾患の漢方治療

コーディネーター 村松 慎一 (自治医科大学東洋医学部門)

座長 村松 慎一

◆ 睡眠時行動異常症・成人の夜尿症

玉田真由美 (自治医科大学東洋医学部門)

◆ 慢性硬膜下血腫

原田 佳尚 (順天堂大学漢方先端臨床医学)

◆ 頭痛

來村 昌紀 (らいむらクリニック)

◆ 脳血管障害

Kwon Seungwon (慶熙大学韓医学部韓医学科)

12:00 – 13:30

S1-03 慢性腎臓病（CKD）・高血圧における漢方医学の意義

コーディネーター 小野 孝彦（尼崎永仁会クリニック 腎臓内科）
座長 小野 孝彦
平山 暁（筑波技術大学
東西医学統合医療センター）

◆ 臨床（保存期 CKD）

小野 孝彦（尼崎永仁会クリニック 腎臓内科）

◆ 基礎

平山 暁（筑波技術大学 東西医学統合医療センター）

◆ 臨床（透析 CKD）

和田健太郎（日本鋼管福山病院 腎臓内科）

◆ 基礎

呉 剣波（オリザ油化株式会社 新商品開発部）

13:30 – 15:00

S1-04 Acupuncture in Japan, Europe, and America

~ Looking Back on History and Talking About the
Future of Acupuncture and Moxibustion Japanese
Acupuncture and the World

コーディネーター 山岡傳一郎 (愛媛県立中央病院)
座長 山岡傳一郎

◆ Japan Has Shaped My Professional Life

Eberhard, Ulrich (Clinica Medicos Para Ti, Private Clinic for Family Medicine Madrid)

◆ Traditional Medicine in Germany – its Role for Patients, Students, and
Society

Mortiz Hempen (Department for Sport and Health Sciences,
Technical University of Munich)

◆ The Basis of the History of Acupuncture and Moxibustion in Japan

東郷 俊宏 (順天堂大学)

◆ Promotion of Moxibustion Outside of Japan

水谷 潤治 (The College of Traditional Chinese Medicine Practitioners and
Acupuncturist of British Columbia)

13:30 – 15:00

S1-05 漢方薬の持続的使用に向けた生薬生産

コーディネーター 吉松 嘉代（国立研究開発法人医薬基盤・健康・栄養研究所
薬用植物資源研究センター）

座長 吉松 嘉代
河野 徳昭（国立研究開発法人医薬基盤・健康・栄養研究所
薬用植物資源研究センター）

◆ 漢方生薬当帰の伝統的生産法の科学的根拠について

佐々木陽平（金沢大学医薬保健研究域薬学系分子生薬学研究室）

◆ シャクヤクの多様性解析研究に基づく国内生産拡充のための戦略

小松かつ子（富山大学和漢医薬学総合研究所）

◆ 薬用シャクヤクの品種育成と栽培技術の開発

林 茂樹（国立研究開発法人医薬基盤・健康・栄養研究所 薬用植物資源研究センター）

◆ 種子繁殖を行ってきた薬用草本の栄養繁殖への転換を探る

古平 栄一（北里大学薬学部 附属薬用植物園）

◆ 薬茶両用オウゴンの育成を指向した栽培研究

魏 勝利（北京中医薬大学中薬学院）

16:30 – 18:00

S1-06 Current status and future propection of Japanese and Chinese traditional medicines

コーディネーター 諸田 隆（国立研究開発法人医薬基盤・健康・栄養研究所
薬用植物資源研究センター）

座長 市瀬 浩志（武蔵野大学薬学部）

- ◆ History, current status and future prospect of Kampo medicines
諸田 隆（国立研究開発法人医薬基盤・健康・栄養研究所 薬用植物資源研究センター）
- ◆ The Status of Education for Kampo Medicine in Japanese Medical Universities
新井 一郎（日本薬科大学 大学院 薬学研究科）
- ◆ Approaches for quality-oriented basic research and standard elaboration of Traditional Chinese Medicines (TCMs)
De-an Guo（中国科学院上海藥物研究所）
- ◆ Mode-of-action analysis of natural medicines and prediction of new indications for various diseases
門脇 真（富山大学）

18:00 - 19:30

S1-07 総合診療における漢方治療の役割

コーディネーター 吉永 亮（飯塚病院漢方診療科）
座長 吉永 亮
南澤 潔（亀田メディカルセンター
東洋医学診療科）

◆ 日本の総合診療と外来患者に対する漢方治療の適応

吉永 亮（飯塚病院漢方診療科）

◆ 入院患者に対する漢方治療の適応

南澤 潔（亀田メディカルセンター東洋医学診療科）

◆ 総合診療における感染症と漢方

鍋島 茂樹（福岡大学総合診療部）

◆ アメリカの家庭医療における総合医療の役割

Sagar Kamprath (University of Texas Medical Branch)

WEB セッション

9:00 – 10:30

S1-08 漢方の歴史

コーディネーター 鈴木 達彦 (帝京平成大学薬学部)
座長 ヴィグル・マティアス (二松学舎大学文学部)

◆ 後世派医学の鼻祖、曲直瀬道三の医学

鈴木 達彦 (帝京平成大学薬学部)

◆ 復古思想における知の伝達と革新:古方派医学についての新しい考察

向 静 静 (立命館大学 立命館アジア・日本研究機構)

◆ 江戸後期医学考証学派の成立と展開 - 多紀家を中心に -

成 高 雅 (京都大学大学院 人間・環境学研究科)

◆ 経絡の図案化:近世ヨーロッパと日本における経絡の受容についての一考察

ヴィグル・マティアス (二松学舎大学文学部)

S1-09 救急・集中治療領域における東洋医学の活用

コーディネーター 中永士師明 (秋田大学医学部附属病院
高度救命救急センター)

座長 中永士師明
神應 知道 (新町クリニック)

◆ 肺炎に対する漢方治療

入江 康仁 (秋田大学医学部附属病院 高度救命救急センター)

◆ 心不全に対する漢方治療

徳永健一郎 (熊本赤十字病院 リウマチ・膠原病内科)

◆ 急性期管理の支持療法

加島 雅之 (熊本赤十字病院 総合内科)

◆ 救急科での中医薬の応用

劉 学 政 (天津中医薬大学第一付属病院救急科)

S1-10 耳鼻咽喉科・頭頸部外科の漢方治療

コーディネーター 金子 達 (金子耳鼻咽喉科クリニック)
座長 金子 達

◆ 総論

金子 達 (金子耳鼻咽喉科クリニック)

◆ 嗅覚障害の基礎から臨床

三輪 高喜 (金沢医科大学耳鼻咽喉科・頭頸部外科)

◆ めまいに対する漢方療法

内菌 明裕 (せんだい耳鼻咽喉科)

◆ 耳鳴・難聴に対する東洋医学的アプローチ

犬飼 賢也 (いぬかい耳鼻科クリニック)

10:30 – 12:00

S1-11 傷寒論の臨床的意義

コーディネーター 三谷 和男 (奈良県立医科大学大和漢方医学薬学センター)
座長 三谷 和男

◆ 総論

クレイグ・ミッチェル (Seattle Institute of East Asian Medicine)

◆ システムとしての傷寒論～仲景は、なぜ、傷寒論を書いたのか～

山岡傳一郎 (愛媛県立中央病院・漢方内科)

◆ 臨床に則した条文解釈 中医学の観点から

田中 秀一 (田中医院)

◆ 伤寒论在现代中国的现状和思考

黄 煌 (南京中医薬大学・国際経方学院)

S1-12 女性の健康と漢方医学

コーディネーター 木村 容子（東京女子医科大学附属東洋医学研究所）
座長 木村 容子

◆ 漢方処方副作用発生の男女差およびその機序について

喻 静（横浜薬科大学 漢方薬学科／漢方薬物学研究室）

◆ 女性の漢方治療

福澤 素子（表参道福澤クリニック）

◆ 妊娠中の漢方処方について

佐藤 泰昌（岐阜県総合医療センター 産婦人科・漢方外来）

◆ 冷え性の漢方治療について

木村 容子（東京女子医科大学附属東洋医学研究所）

S1-13 歯科口腔領域における漢方治療

コーディネーター 砂川 正隆（昭和大学医学部生理学講座生体制御学部門）
座長 砂川 正隆

◆ 日本の歯科臨床における漢方治療

柿木 保明（九州歯科大学）

◆ オーラルフレイルに効果的な漢方薬と口腔機能トレーニング

山口孝二郎（昭和大学医学部生理学講座生体制御学部門）

◆ 半夏瀉心湯は頭頸部がん患者の放射線療法によって

誘発される口腔粘膜炎を抑制する

細川 亮一（細川ファミリー歯科クリニック）

◆ 歯科口腔外科領域の疼痛疾患に対する漢方治療

砂川 正隆（昭和大学医学部生理学講座生体制御学部門）

12:00 – 13:30

Sponsored Seminar

SS1-01 認知症に対する漢方の可能性

株式会社ツムラ

◆ 認知症における漢方治療

水上 勝義（筑波大学 人間総合科学研究科 教授）

◆ アルツハイマー動物モデルにおける記憶障害と BPSD に対する

抑肝散と人参養栄湯の改善効果

岩崎 克典（福岡大学薬学部 臨床疾患薬理学研究室 教授）

◆ BPSD に対する抑肝散の短期および長期臨床試験について

石田 康（宮崎大学医学部 臨床神経科学講座 精神医学分野 教授）

SS1-02 フレイルに対する人参養栄湯の有用性

クラシエ薬品株式会社

◆ 人参養栄湯を構成する生薬、陳皮に含まれる複数の成分が

オレキシン1受容体を活性化する

上園 保仁（東京慈恵会医科大学 医学部 疼痛制御研究講座 特任教授）

◆ 人参養栄湯による食欲不振とフレイルの改善: NPY 神経活性化の役割と機序

矢田 俊彦（関西電力医学研究所 統合生理学研究センター/ 統合生理学研究部 センター長）

◆ フレイルと人参養栄湯-免疫強化は若返りか

乾 明夫（鹿児島大学大学院 医歯学総合研究科 漢方薬理学講座 特任教授）

SS1-03 HPV と疣贅

小太郎漢方製薬株式会社

◆ ウイルス性疣贅の病因・病態と疣贅治療の原則

江川 清文（北里大学客員教授 / 東京慈恵会医科大学皮膚科非常勤講師）

◆ 尋常性疣贅診療ガイドライン 2019

渡辺 大輔（愛知医科大学皮膚科学講座教授）

13:30 – 15:00

S1-14 現代医療における漢方医学

コーディネーター 中島 正光 (広島国際大学生薬漢方診療学)
座長 中島 正光

◆ 現代医療における漢方医学の特徴

中島 正光 (広島国際大学生薬漢方診療学)

◆ 現代医療における漢方医学の特徴である腹診

藤本 誠 (富山大学附属病院和漢診療科)

◆ 日本におけるエキス剤の使用状況と臨床研究

後藤 博三 (北聖病院)

◆ 現代医療における中医学と日本漢方との違いと日本漢方の有用性

莊 明 仁 (Ming Jen Chuang 瑞聯中醫)

S1-15 現代医学における漢方診断と四象医学

コーディネーター 伊藤 剛 (北里大学東洋医学総合研究所)
座長 伊藤 剛

◆ 方証相対

貝沼茂三郎 (富山大学附属病院和漢診療科)

◆ 日本における舌診の発展と変遷

川鍋 伊晃 (北里大学東洋医学総合研究所)

◆ 漢方医学における腹診の医学的特徴

伊藤 剛 (北里大学東洋医学総合研究所)

◆ 韓国における四象医学

KOH Byunghee (慶熙大学名誉教授)

S1-16 呼吸器疾患における漢方薬の有用性について

コーディネーター 鈴木 朋子（埼玉医科大学総合診療内科）

座長 鈴木 朋子

巽 浩一郎（千葉大学呼吸器内科学講座）

◆ 日本漢方の有用性および日本漢方の考え方・COPDに対する補中益気湯の効果

巽 浩一郎（千葉大学呼吸器内科学講座）

◆ COPD患者のフレイルに対する人参養栄湯の臨床応用と考察

相良 博典（昭和大学呼吸器アレルギー内科学部門）

◆ 肺非結核性抗酸菌症の漢方治療

鈴木 朋子（埼玉医科大学総合診療内科）

◆ 気道上皮杯細胞の分化に対する清肺湯の作用

関谷 知樹（東京理科大学）

15:00 – 16:30

S1-17 新規栽培技術による生薬生産への挑戦

コーディネーター 河野 徳昭（国立研究開発法人医薬基盤・健康・栄養研究所
薬用植物資源研究センター）

座長 河野 徳昭

◆ 植物工場・温室を用いた薬用植物の生産

後藤 英司（千葉大学 大学院園芸学研究院 環境調節工学研究室）

◆ ウラルカンゾウ等の薬用植物のバイオナーサリーシステムの開発

吉松 嘉代（国立研究開発法人医薬基盤・健康・栄養研究所 薬用植物資源研究センター）

◆ ヒロハセネガの水耕栽培研究

熊内 雅人（三進金属工業株式会社 戦略的基盤研究センター）

◆ 広西瑶薬資源の保護と持続可能な利用

唐 輝（広西チワン族自治区中国科学院広西植物研究所）

◆ Towards the democratization of healthcare through optimization of the production of crude drugs

Amanda C. Martin (Cor Findings, LLC)

S1-18

Globalization of Traditional Herbal Medicines

コーディネーター 新井 一郎 (日本薬科大学)
座長 新井 一郎

◆ Role of Traditional Herbal Medicine for Healthcare in Germany and Europe

Thomas Friedemann (Head of Basic Research, HanseMercur Center for Traditional Chinese Medicine at the University Medical Center Hamburg-Eppendorf)

◆ Progress of International Standardization of Traditional Chinese medicine in China

HUANG Yu-Feng (State Key Laboratory of Dampness Syndrome of Chinese Medicine, The Second Affiliated Hospital of Guangzhou University of Chinese Medicine)

◆ International Standardization of Medicinal Plants and Kampo Products in Japan

河野 徳昭 (国立研究開発法人医薬基盤・健康・栄養研究所 薬用植物資源研究センター)

◆ Status of International Cooperation for the Globalization of Korean Medicine

NAM Hyo-Ju (Global Business Team, National Institute for Korean Medicine Development)

S1-19 瘀血病態に関わる臨床研究

コーディネーター 柴原 直利（富山大学和漢医薬学総合研究所
和漢医薬教育研修センター）

座長 柴原 直利

◆ 瘀血と自律神経系との関連

柴原 直利（富山大学和漢医薬学総合研究所和漢医薬教育研修センター）

◆ 桂枝茯苓丸の駆瘀血作用

嶋田 豊（富山大学大学院医学薬学研究部和漢診療学講座）

◆ 舌診における舌下静脈幅と瘀血との関連

森田 智（千葉大学大学院医学研究院和漢診療学）

◆ 中医学における瘀血病態

杜 金 行（中西医結合心臓内科教授）

16:30 – 18:00

S1-20 機能性ディスぺプシアの漢方治療～六君子湯を中心に～

コーディネーター 新井 信（東海大学医学部専門診療学系漢方医学）
座長 及川 哲郎（東京医科大学総合診療医学分野）

◆ 臨床（Treatment Strategies for Functional Dyspepsia in Kampo Medicine）

新井 信（東海大学医学部専門診療学系漢方医学）

◆ 基礎（Current Knowledge About Pharmacological and Molecular Basis of Rikkunshito's Action）

武田 宏司（時計台記念病院 消化器内科 / 北海道大学薬学研究院）

◆ 国際化（International Position of Rikkunshito in the Treatment of Functional Dyspepsia）

鈴木 秀和（東海大学医学部内科学系消化器内科学）

◆ エビデンス（Effects of Rikkunshito on Functional Dyspepsia: A Systematic Review and Meta-analysis）

Jae-Woo Park（Department of Gastroenterology College of Korean Medicine, Kyung Hee University, Korea）

S1-21 ICD-11 伝統医学章の開発と国内適用

コーディネーター 星野 卓之（北里大学東洋医学総合研究所）
座長 渡辺 賢治（慶應義塾大学）

◆ 開発の経緯

渡辺 賢治（慶應義塾大学）

◆ 国内適用（中国）

竈 丹 波（上海中医薬大学）

◆ 国内適用（日本）

星野 卓之（北里大学東洋医学総合研究所）

◆ 国内適用（鍼灸）

斉藤 宗則（鈴鹿医療科学大学）

S1-22 循環器領域の漢方と東洋医学

コーディネーター 石上 友章（横浜市立大学循環器内科）
座長 石上 友章

◆ Nutritional Solution Aided by Kampo Medicine in Cardiology

石上 友章（横浜市立大学循環器内科）

◆ Practice in Cardiology by Kampo Medicine in Japan

伊東 秀憲（北里大学東洋医学総合研究所）

◆ Kampo Medicine, Ameliorating Patients' symptoms, Stand out

Routine Cardiology Practices

中田 佳延（東海大学医学部専門診療学系漢方医学 /
湘南病院 東洋医学センター長・内科部長）

◆ Potential Efficacy of Kampo Medicine for Cardiorenal Interactions

畝田 一司（福島県立医科大学会津医療センター）

LIVE セッション

9:00 – 10:30

S2-01 日本の薬草園と薬草博物館

コーディネーター 山岡傳一郎 (愛媛県立中央病院)

座長 山岡傳一郎

ク・フタ (University Medical Center Göttingen)

◆ 森野旧薬園と松山本草

高橋 京子 (大阪大学)

◆ Tomitaro Makino, a Father of Plant Taxonomy in Japan, and Makino

Botanical Garden

水上 元 (名古屋市立大学客員教授)

◆ アルブレヒト・フォン・ハラーの植物園

ク・フタ (University Medical Center Göttingen)

◆ 未来の薬草園

吉野 鉄大 (慶應義塾大学医学部漢方医学センター特任講師)

10:30 – 12:00

S2-02 Characteristics of Japanese and Korean
Acupuncture and Moxibustion

コーディネーター 今井 賢治 (帝京平成大学)
座長 今井 賢治

◆ Introduction of the Japanese Technique of Acupuncture and
Moxibustion

今井 賢治 (帝京平成大学)

◆ The World's First Disposable Acupuncture Needle

河合 正照 (セイリン株式会社)

◆ Features of Moxa Manufacturing Process in Japan

樋口亜紀子 (株式会社山正)

◆ Introduction of Therapeutic Techniques of Korean Medicine. -
Acupuncture & Moxibustion

Dongwoo Nam (Kyung Hee University)

13:00 – 15:30

S2-03 漢方教育の国際化に向けて

コーディネーター 網谷真理恵（鹿児島大学地域医療学分野）

座長 網谷真理恵

蓮沼 直子（広島大学医学部附属医学教育センター）

◆ 医学教育の国際動向と認証評価の視点から

蓮沼 直子（広島大学医学部附属医学教育センター）

◆ 国内多学部の漢方教育の現状と漢方評価について

網谷真理恵（鹿児島大学地域医療学分野）

◆ 国内医学部の漢方教育の現状について

野上 達也（東海大学漢方医学講座）

◆ 台湾と中国における Herbal medicine education について

鄭 瑞 棠（Graduate Institute of Medical Sciences,

Chang Jung Christian University)

15:20 – 17:20

Special Symposium

S2-04 COVID-19 漢方対応：予防、治療、回復期における臨床的、 薬理的側面の解釈と取り組み

コーディネーター 高山 真（東北大学病院 総合地域医療教育支援部・漢方内科）
座長 高山 真
並木 隆雄（千葉大学大学院医学研究院和漢診療学）

◆ 日本東洋医学会主導の COVID-19 に関する臨床研究プロジェクトの紹介

伊藤 隆（証クリニック）

◆ COVID-19 予防、漢方薬の薬理的側面

牧野 利明（名古屋市立大学大学院薬学研究科医療分子機能薬学講座 生薬学分野）

◆ COVID-19 治療、漢方薬の薬理的側面

有田龍太郎（東北大学病院 総合地域医療教育支援部・漢方内科）

◆ COVID-19 予防、臨床研究

並木 隆雄（千葉大学大学院医学研究院和漢診療学）

◆ COVID-19 回復期・後遺症における臨床研究

小田口 浩（北里大学東洋医学総合研究所）

◆ COVID-19 治療、臨床研究

高山 真（東北大学病院総合地域医療教育支援部・漢方内科）

WEB セッション

9:00 – 10:30

S2-05 Clinical practice and safety of acupuncture in the COVID-19 pandemic: Lessons for the next pandemic-
Have there been any changes in the empirical knowledge of acupuncturists and physicians practicing traditional medicine since the outbreak of COVID-19? -

コーディネーター 増山 祥子 (森ノ宮医療大学)
座長 増山 祥子

- ◆ Acupuncture Practice During the COVID-19 Pandemic- My Experience in London
Atsuko Fritz (Acupuncture & Kampo Clinic)
- ◆ Different Faces of Long COVID in View of Five Elements- Perspective as a Heilpraktiker in Germany-
Setsuko Pitschmann (Naturheilpraxis Setsuko Pitschmann)
- ◆ Impact of COVID-19 on California Acupuncturists and Future Perspective
Hideko Pelzer (Acupuncture and Integrative Medicine College, Berkeley (AIMC))
- ◆ An Experience of post-acute COVID-19 Syndrome Treatment with Acupuncture and Herbal Medicine
Jun-Yong Choi (Korean Medicine Hospital of Pusan National University)

S2-06 漢方腎虚概念に基づいたフレイル・サルコペニア対策における漢方医学の役割

コーディネーター 萩原 圭祐（大阪大学大学院医学系研究科
先進融合医学共同研究講座）

座長 萩原 圭祐

◆ フレイル・サルコペニアにおける漢方の役割とは何か？

萩原 圭祐（大阪大学大学院医学系研究科先進融合医学共同研究講座）

◆ サルコペニアにおける漢方製剤の薬理効果について

石田 智滉（高知大学医学部附属病院 薬剤部）

◆ 高齢者医療での六君子湯の役割について

山本 浩一（森ノ宮医療大学保健医療学部）

◆ Japan Frailty Scale（腎虚スコア）の開発について

江頭隆一郎（大阪大学大学院医学系研究科先進融合医学共同研究講座）

S2-07 漢方でこそ治せる産婦人科愁訴と疾患

コーディネーター 槇本 深（秋山記念病院産婦人科）

座長 槇本 深

◆ 心理テストからみた漢方薬の使い分け

喜多 敏明（辻仲病院柏の葉漢方未病治療センター）

◆ 産婦人科領域における精神作用のある漢方薬の応用

佐野 敬夫（朋友会札幌産婦人科）

◆ 妊娠浮腫と羊水減少に対する五苓散の効果

槇本 深（秋山記念病院産婦人科）

◆ アクアポリンから見た漢方薬薬効のメカニズム

磯濱洋一郎（東京理科大学薬学部）

10:30 – 12:00

S2-08 がんサポーターティブケアにおける漢方医学の意義

コーディネーター 元雄 良治（小松ソフィア病院腫瘍内科・漢方内科）

座長 元雄 良治

上園 保仁（東京慈恵会医科大学疼痛制御研究講座）

◆ 総論

元雄 良治（小松ソフィア病院腫瘍内科・漢方内科）

◆ 臨床

西内 崇将（香川大学・高松赤十字病院 腫瘍内科）

◆ 基礎

上園 保仁（東京慈恵会医科大学疼痛制御研究講座）

◆ ドイツの観点から

シルケ・キャメロン（ゲッティンゲン大学消化器腫瘍内科）

S2-09 皮膚科領域における漢方治療：基礎と臨床

コーディネーター 前田 学（八幡病院皮膚科）

座長 前田 学

豊田 雅彦（うるおい皮膚科クリニック）

◆ 黄連解毒湯のアトピー性皮膚炎治療効果の分子メカニズム

安東 嗣修（金城学院大学薬学部）

◆ 伝統薬草学的視点からアトピー性皮膚炎の血管炎症を捉える

清水 忠道（富山大学皮膚科）

◆ 梔子柏皮湯のアトピー性皮膚炎患者への臨床・基礎

豊田 雅彦（うるおい皮膚科クリニック）

◆ 気血水理論からみた膠原病と漢方治療

前田 学（八幡病院皮膚科）

S2-10 泌尿器科領域における漢方医学の意義

コーディネーター 関口 由紀 (女性医療クリニック LUNA グループ)
座長 関口 由紀
大岡 均至 (神戸医療センター)

◆ (基礎) 尿路結石

鳥本一匡 (奈良県立医科大学)

◆ (臨床) 下部尿路症状

大岡 均至 (神戸医療センター)

◆ (臨床) 尿路感染症

井上 雅 (雅ウロギネクリニック)

◆ (基礎&臨床) 泌尿器がんと男性ホルモン

井手 久満 (獨協医科大学埼玉医療センター)

13:30 – 15:00

S2-11 Basic Research on Acupuncture – Acupuncture Analgesia and Effects on Autonomic Nerve System

コーディネーター 木村 研一 (関西医療大学)
座長 内田 さえ (Tokyo Metropol. Inst. Gerontol.)

◆ Acupuncture Effect on Pain Modification Pathway

鳥海 春樹 (慶応義塾大学)

◆ Purinergic Signaling and Acupuncture Analgesia

Yong Tang (Chengdu University of Traditional Chinese Medicine)

◆ Does Electroacupuncture Mimics Exercise-Induced Muscle Contractions?

Elisabet Sterner-Victorin (Dept. Physiology and Pharmacology, Karolinska Institute Sweden)

◆ Effects of Acupuncture Stimulation via Somatoautonomic Reflex on Stress-Induced Gastrointestinal Dysfunctions

谷口 授 (東京有明医療大学 保健医療学部 鍼灸学科)

S2-12 黄斑部網膜水滯の漢方治療

コーディネーター 竹田 眞（竹田眼科）
座長 竹田 眞
山本 昇伯（山本眼科医院）

◆ 黄斑部網膜の網膜内水分貯留の色々

竹田 眞（竹田眼科）

◆ 糖尿病網膜症のび慢性黄斑部浮腫の治療

黒木 悟（黒木眼科医院）

◆ 網膜静脈閉塞等に伴う黄斑浮腫の治療

山本 昇伯（山本眼科医院）

◆ 台湾における黄斑部浮腫の伝統医学的治療

陳 麒 方（台湾天心中医病院）

S2-13 ペインクリニック領域における漢方医学の意義

コーディネーター 間宮 敬子（信州大学）
座長 間宮 敬子
濱口 眞輔（獨協医科大学）

◆ 日本のペインクリニックにおける漢方治療

間宮 敬子（信州大学）

◆ 疼痛管理の4つのタイプ:総合医療からみた漢方治療

矢数 芳英（東京医科大学）

◆ 神経障害性疼痛に対する漢方薬の鎮痛メカニズム

中西 美保（滋賀医科大学）

◆ ドイツでの痛みに対する漢方治療

Dr. Heidrun Rei Benweber-Hewel (Clinic for Internal Medicine, Gastroenterology and
Japanese Medicine, Graefelfing)